

# 特徴

- 愛知県下で数少ない日本アレルギー学会教育認定施設（小児科）  
愛知県下の一般病院小児科では最初に認定
- 気管支喘息＋喘息様気管支炎  
年間百数十人入院 90%以上が中等症以上  
人工呼吸器管理も可能 ⇒ 救命救急センターとして  
麻酔科医による集中治療も充実
- 小児喘息死は26年間経験なし  
小学生以上の児に呼吸機能、FeNO検査を年間2回以上施行
- ★ アレルギー疾患に対して小児専門看護師が外来で1回/週専門指導
- 妊婦へのアレルギー疾患予防指導、希望者に産婦人科外来で講義
- 食物アレルギー患児に食物負荷試験を入院で施行
- ★ 常勤管理栄養士が外来入院ともに介入し継続的な栄養指導を施行
- 漢方薬の積極的導入

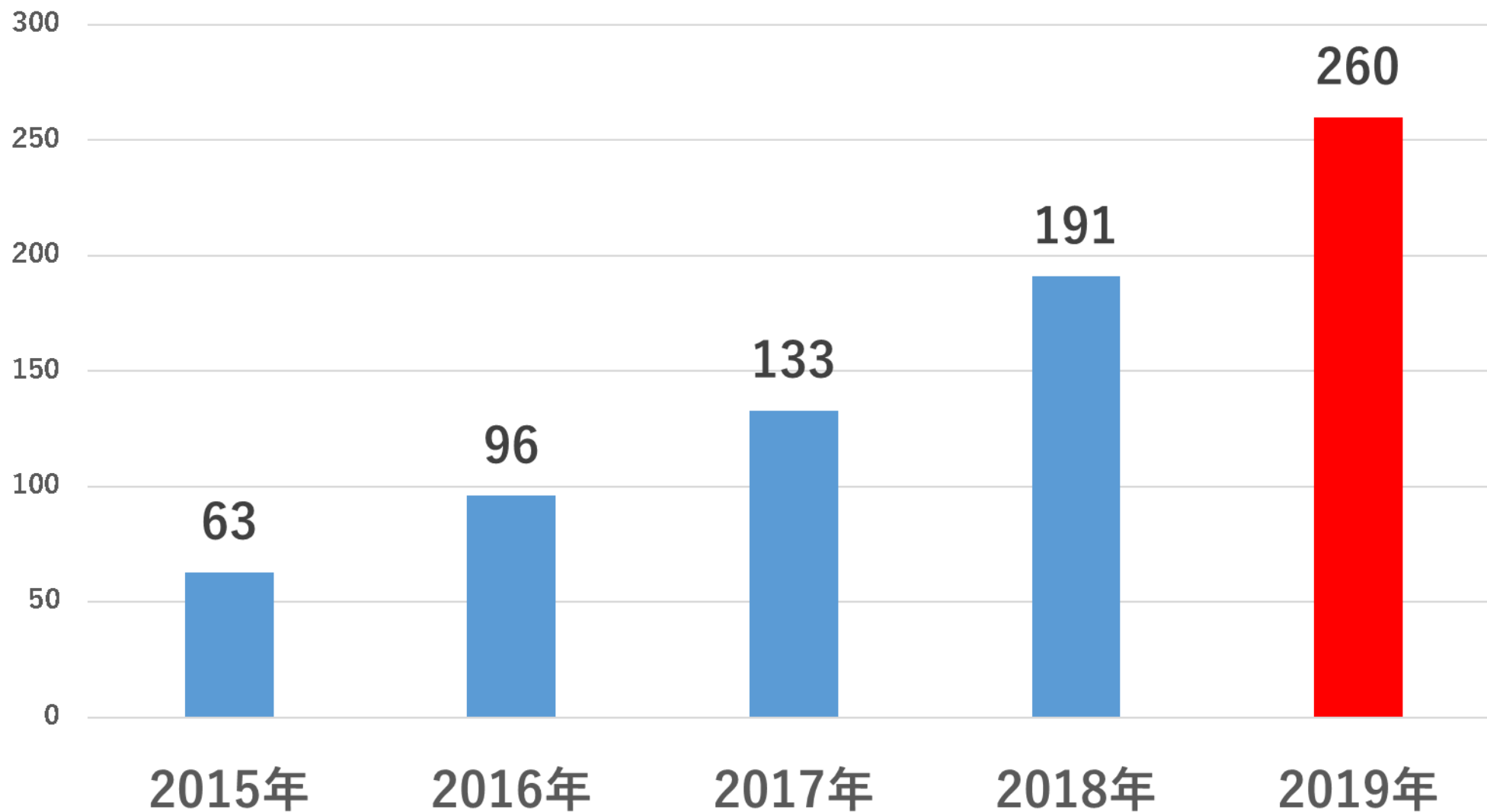
# アナフィラキシーで救急外来を受診した患児

2012-13年

2017-18年

	204人	145人
	(男118人、女86人)	(男93人、女52人)
受診後入院	48人 (23.5%)	56人 (38.6%)
救急車で来院	48人 (23.5%)	73人 (50.3%)
食物が原因	126人 (61.8%)	112人 (77.2%)
(FDEIA除く)		
卵	8人	21人
乳	26人	32人
小麦	15人	13人
ピーナッツ	10人	9人
クルミ	3人	11人
カシューナッツ	2人	2人
イクラ	3人	5人
お好み焼き粉		
のダニ	4人	0人
不明	35人 (17.2%)	14人 (9.7%)

# 食物負荷試験入院人数



# 2019年 負荷食材人数

卵黄	卵白	生卵	牛乳	小麦	大豆
21	105	6	41	31	4

ピーナッツ	アーモンド	クルミ	カシューナッツ	ソバ	ゴマ	キウイ
9	9	5	2	6	1	1

イクラ	カレイ卵	シシヤモ卵	タラコ	サバ	イカ	小豆	ミルフィー	薬物
7	1	1	1	1	1	1	1	4

# 小児科エピペン処方人数

